



神のことはつながれていません

総主事 嶋田博考



ステパノの迫害による殉教により、エルサレム教会の人々は散らされました。「その日、エルサレムの教会に対する迫害が起こり、使徒たち以外はみな、ユダヤとサマリアの諸地方に散らされた。」(使徒 8:1) しかし、このことは主のみことばの成就でした。「そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、さらに地の果てにまで、私の証人となります。」(使徒 1:8)

聖書同盟をご支援くださる多くの教会が、新型コロナウイルス (COVID-19) の感染拡大のために、教会として礼拝や交わりを保つことが困難になっている様子を耳にし、祈っておりました。聖書同盟は超教派団体として、主の教会に仕えることを大切にまいりました。この状況の中で教えられたことがあります。一時的に集まるものが

できなくても、教会は教会であることです。自粛期間中の5月31日に聖霊降臨日のペンテコステを迎えましたが、教会はその歩みの最初から、今までのように集まれないという経験をしています。

このような状況下で、すでにあった「みことばの光」のデジタル版 (PDF版) に、姉妹誌である中高生対象の「月刊ジュニアみことばの光」のPDF版を加えることができました。後に続く記事にもありますが、聖書同盟が発行する書籍の聖句引用を、聖書新改訳2017のものにすることが進み、今後も継続して取り組みます。また、私たちの働きが、諸教会や個人の方々の生活のより近いところにあることができるよう、聖書同盟のホームページをリニューアルします。他の国と地域のスクリプチャー・ユニオン (SU) も同じような状況で活動の多くは縮小しますが、主が望まれる今できる最善をさせていただきたいと願っています。

教会は集まれないことを経験しますが、主はそのすべてをご存じです。その生涯の多くの日、教会に集うことを許されなかった人のことばです。「この福音のために私は苦しみを受け、犯罪者のようにつながれています。しかし、神のことはつながれていません。」(IIテモテ 2:9)

左の写真は東西アジア各国SUの総主事たちのzoomミーティング。新型コロナ感染拡大で変化した活動の状況を分かち合い、働きのために祈りの時を持った。



2019年度の活動を振り返って



聖書通読運動

2019年度は新しい書籍の出版で始まりました。

「E100 (イーワンハンドレッド) チャレンジガイド これだけは読みたい聖書 100箇所」です。E100はEssential 100の略で、100の聖書箇所をグループで分かち合いながら学ぶことができるものです。また、「聖書新改訳2017」に準拠した初めての書籍となりました。

2019年11月4日(月:振替休日)には、保守バプテスト連合・御徒町キリスト教会(東京・台東区)をお借りし、「聖書通読デポジションセミナー」を開催しました。参加者は少なかったのですが、聖書同盟が推奨するみことばとともにある信仰生活を、いくつかの角度から再確認するときとなりました。

参加者の一人はヨーロッパ在住の方でした。いつも「みことばの光」を用いて、友人の方と分かち合うことをしているとのことでした。聖書同盟が発行する聖書通読誌が、日本国内だけではなく海外に在住する方々に用いられていることと、分かち合うことがみことばを心に留めて生活することに役立つことを改めて覚える機会となりました。

聖書同盟は、これまでしてこなかったわけではありませんが、どちらかと言えば、分かち合うことよりも個人的なデポジションに重点を置いて聖書通読運動を推進してきました。2020年10月10日(土)には、聖書同盟・聖書を読む会(主催)、日本ウィクリフ聖書翻訳協会(共催)で、「スモールグループ・セミナー」を開催する予定であります。新型コロナウイルスの感染拡大に対応して、いわゆるウェビナー(ウェブ+セミナー)としてオンラインの開催となります。

中高生を中心的な読者として発行している「月刊ジュニアみことばの光」(以降「ジュニみこ」)は、新年度の2019年4月号から表紙デザインをリニューアルしました。姉妹誌である「みことば

の光」と同じ、パステルカラーを用いたデザインです。一年ごとに学年が上がることは、中高生にとって大きいことです。デザインは、全体の印象はそのままに、一年ごとに少しずつ更新します。2020年5月には、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、「ジュニみこ」のデジタル(PDF)版を作成することができました。

聖書同盟の聖書通読運動の働きが、いつの時代も、みことばを愛し、主とともに



に生きる教会と教会の方々に仕えるものでありたいと願っています。

青少年伝道運動

日本の社会も少子高齢化と言われて久しいです。中高生への働き事情も教会によりそれぞれです。中学生と高校生のための集会をそれぞれに持てる教会、中高生のための集会を定期的に持てる教会、祈りに覚える中高生はいても、礼拝以外に集会は持てないという教会、対象となる中高生が見当たらない教会もあります。教会によって事情の違いはあっても、福音に心を開く可能性が大きくある中高生時代を過ごす若者たちに、みことばを伝えることは、すべての教会の共通の使命です。

2019年度は、2年間働いた大條瑛子CSK協力主事の2年目でした。CSK 中高生伝道懇談会という集会を、4月、6月、10月に開催しました。大條協力主事が所属するJECAぶどうの樹キリスト教会(東京・四ツ谷)をお借りしました。この集会は、中高生が集まるものではなく、中高生のために祈り仕える、教会の方々のための集会でした。CSKはローマ字表記の頭文字を取った名称で、正式な名称は「中学生聖書クラブ協力会」です。どこの地域にあるどんな状況の教会にも、中高生

伝道に取り組む教会とともに働くことのできるCSKでありたいと願います。

聖書同盟が後援というかたちで開催協力するキャンプは、CSK インキャンプ、CSK アウトキャンプ、関西地区CSK キャンプの三つがあります。年度のスタート直前の2019年3月のCSK 春キャンプから続いた働きは、台風のために中止になった夏の関西地区CSK キャンプの他は、順調に進められました。けれども、年度末の2020年3月の春キャンプは中止となりました。特にインキャンプは、2020年夏に第53回のキャンプを迎えようとしていました。毎年の開催が途切れてしまうのは初めてのことです。

CSK 委員会が計画と運営に当たるCSK 中学科教師研修会はここ数年、感謝なことに100名以上の方々に参加していただきました。2020年3月には、52回目の開催を予定していましたが、中止または延期としました。

特に、若い人たちが集まることを前提としているCSKは、新型コロナウイルスの影響で大幅に縮小せざるをえない働きです。お祈りに覚えていただければ幸いです。



国際宣教協力

年度の後半でしたが、2019年の年末から2020年の年始にかけて開催されたSU 東西アジア第8回青少年国際キャンプは恵みに満ちたものでした。その準備の一環として、これまでの関東、名古屋、関西に加え、初参加の九州（宮崎と熊本）の教会でオリエンテーションを行うことができ感謝でした。また、キャンプの会場はSU マレーシアのキャンプ場でしたが、その後の新型コロナウイルス（COVID-19）の世界的な感染拡大を考えると、各国から参加者が集まって（日本から30名）開催できたことが不思議に思います。

学校の休みの事情によって、若者たちが参加することができない国や地域もあります。その中で、日本はいつも参加が多い国として知られるように

なりました。また、2018年からは国際キャンプ委員会を聖書同盟の常設の委員会の一つとしました。日本語という独特の言語を持ち、クリスチャン人口の少ない私たちの国ですが、日本の人々にも他の国籍の方々にも福音を伝えるために、他の国々のSUと協力する今後の可能性を秘めています。何より青少年国際キャンプによって、すでに他の国のクリスチャンと友だちになった若者たちが、私たち日本の教会に備えられています。

2020年度聖書同盟・CSK 活動体制 理事会

一般社団法人としては社員総会が正式な名称です。毎年2月、5月、10月に開催します。5月の理事会はメール会議という方法で開催しました。一週間前から総会資料に関する質疑などをメール上でやり取りし、当日はオンラインで短時間で承認、決議するというものです。

理事は10名で現在、1名欠員です。稲垣博史理事長（日本福音キリスト教会連合[JECA]岩井キリスト教会国内宣教師/JECA 永福南キリスト教会出席）、飯島勅副理事長（日本バプテスト連合・拜島バプテスト教会協力牧師）、大藪一男理事（淡輪聖書教会協力牧師）、羽鳥頼和理事（JECA 自由ヶ丘キリスト教会牧師）、福田崇理事（日本ウィクリフ聖書翻訳協会聖書活用・宣教協力担当）、小山田格理事（国際福音センター東小金井チャペル牧師）、矢吹徹理事（保守バプテスト同盟・宇都宮聖書バプテスト教会牧師）、佐久間章理事（JECA たまプラーザキリスト教会牧師）、吉澤恵一郎理事（日本伝道福音教団・新潟聖書教会牧師）です。

会計監査と業務監査を行う監事も理事会に陪席し、会計監事は阿部聖津雄監事（JECA 宣教教会教会員）です。業務監事の奥村輝夫監事（JECA たまプラーザキリスト教会教会員）は新任の幹事として10月の理事会からの出席です。

CSK 委員会

CSK（中学生聖書クラブ協力会）の働きに関し

て責任を負う委員会です。毎年 3 月に開催する CSK 中学科教師研修会の計画と運営に当たります。主体的な教会協力による CSK キャンプは現在、関東で開催されるインキャンプとアウトキャンプ、関西地区キャンプの 3 つがありますが、この委員会が CSK 主事からの報告を受け止めて祈っています。中高生のための聖書通読誌である「ジュニアみこ」の発行についても同様です。

吉澤恵一郎委員長代行、岩井基雄副委員長（日本福音自由教会協議会・清瀬福音自由教会牧師）、神谷典孝委員（JECA 横浜さちが丘キリスト教会牧師）、大倉寧委員（JECA 青梅キリスト教会／奥多摩バイブルシャレー）、石井陵太委員（JECA 西上尾福音教会牧師）の 5 名が委員会を構成しています。欠員が 1 名です。

JECA は関東に四地区ありますが、そのうちの三地区から CSK 委員が建てられます。JECA は、日本福音キリスト教会連合として正式に成立する以前から CSK への協力を始めたという経緯があります。その他の委員は、超教派のバランスを考慮して、他の教団・グループから立っています。

みことばの光委員会

「みことばの光」の編集と発行について話し合う委員会です。この委員会の設置により、編集責任者とともに責任を負い合う体制ができました。現在、みことばの光編集責任者と聖書同盟理事によって構成されています。稲垣博史師、福田崇師、佐久間章師、矢吹博師（フランクフルト日本語福音キリスト教会牧師）です。みことばの光編集責任者の矢吹博師はドイツからオンラインで参加します。2017 年から開催する「みことばの光執筆者講習会」の計画と運営にも当たります。

ジュニみこ委員会

「ジュニみこ」の編集と発行に関わる委員会ですが現在は休止中。CSK 委員会のもとで、委員会の本来的な役割を再確認してスタートできるよう準備中です。現在、ジュニみこ編集責任者は石井

陵太師です。聖書日課の編集者として札幌在住の松田聖一・有未夫妻（康阜聖書教会太平チャペル牧師）が 6 月から新しく加わりました。有未師は 3 月まで JECA キリスト教朝顔教会の伝道師であった旧姓伊藤有未師です。

国際キャンプ委員会

原雅幸師（委員長：JECA キリスト教たんぼ教会牧師）、黒田信正兄（JECA 千歳烏山光の子聖書教会教会員）、下村聖実姉（イムマヌエル綜合伝道団・インマヌエル高津キリスト教会教会員）が委員会のメンバーです。下村姉は結婚に導かれ、新しい地で生活しています。聖書同盟は、世界約 130 の国や地域に広がるスク립チャー・ユニオンの働きです。まだ、青少年国際キャンプの引率以外の役割は定まっていますが、大切な役割を担う委員会です。

事務所スタッフ

新年度から会計を担当するのは加藤かおり姉（JECA 上水めぐみキリスト教会教会員）です。事務管理のリーダーでもあります。これまでお茶の水クリスチャン・センターにある日本国際ギデオオン協会で働いていました。聖書同盟では、CSK インキャンプまたアウトキャンプにスタッフとして関わり、青少年国際キャンプにはオフィサー（引率スタッフ）として 2 度、参加しています。

広沢真理子姉（JECA キリスト教朝顔教会教会員）は昨年 1 月から働いています。主に発送業務を担当します。今年 1 月から働く末武美花姉（JECA OMF ザ・チャペル・オブ・アドレシオン教会員）は、発送業務のリーダーとして働きます。

稲垣博史師は理事長の責任を負いながら、協力主事としてボランティアでニュースレター編集、書籍出版や国際的な連携のために働いています。最後に、聖書同盟総主事と CSK 主事を兼任する嶋田博考（JECA 前橋キリスト教会教師）です。

働きをともにしてくださる方々

大阪在住の理事である大藪一男師は、聖書同盟の協力主事として関西の諸教会を訪問しています。松田吉広師（日本同盟基督教団・武庫之荘めぐみ教会牧師）は関西地区 CSK キャンプのアドバイザーとして、この働きの中心となっております。

「みことばの光」の初期校正は、松原智師（福音伝道教団・笹塚キリスト教会牧師）と、大藪宣基・真紀子夫妻（淡輪聖書教会牧師）が担当しています。3月まで事務所で働いた山守真由美姉（JECA 宣教教会教会員）が引き続き編集を担当します。

「みことばの光」は 100 名を超える方々に PDF

版で購読していただいておりますが、その配信は北海道江別から中川賀代師（JECA 三番通福音キリスト教会伝道師）が担当しています。

「ジュニアみこ」の表紙と巻頭・巻末の編集は、東海林隆之師（JECA 鷺沼キリスト福音教会牧師）が担当しています。巻頭特集は鈴木望兄（日本同盟基督教団・多磨教会教会員）が担当します。巻末に答えのページという解答集がありますが、その作成アシスタントを山田悦子姉（JECA 前橋キリスト教会教会員）がボランティアでしてくださっています。

聖書を読む会・聖書同盟主催
日本ウイクリフ聖書翻訳協会共催

スモールグループ・セミナー

さらにも豊かに、
みことばに

—なぜ今スモールグループか—

私たちは、礼拝のみことばに聞き、個人デポジションを大切にしています。しかし、より深くみことばに養われたいと思う方も多くでしょう。このセミナーでは、スモールグループの大切さを確認し、説教やデポジションの思みをスモールグループで分かち合う試みや、スモールグループで聖書を読むことなど、様々なアプローチを学びます。

聖書同盟と聖書を読む会、日本ウイクリフ聖書翻訳協会の三団体が協力して、10月10日（土）10:00～15:00 にウェビナー（webを利用したセミナー）によって、スモールグループ・セミナーを開催します。当初はお茶の水クリスチャン・センターで開催の予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止のため、オンライン（zoom）での集会に変更しました。

プログラム

1. 「翻訳聖書を通して語る神」（日本ウイクリフ聖書翻訳協会総主事 松丸嘉也）
—なぜ聖書は翻訳されなければならないのか—
2. 「スモールグループ運動の現在」（日本ウイクリフ宣教師、聖書同盟・聖書を読む会理事 福田 崇）
—世界的に実を結んでいるスモールグループ運動—
3. 「聖書の権威とみことばを分かち合うこと」（聖書同盟総主事兼CSK主事 嶋田博考）
—書かれていることを越えない分かち合いのあり方—
4. 「スモールグループで聖書を学ぶ意義」（東京カレ・メツバ教団 桜ヶ丘キリスト教会主任牧師、聖書を読む会理事長 水口 功）
—スモールグループで進む、伝道と相互ケア—

参加ご希望の方は聖書同盟宛（info@sujp.org）にメールで、お名前、教会名、電話番号、メールアドレスを明記してお申し込みください。先着 30 名の方々に zoom 集会参加のためのリンクをお伝えします。参加費は無料です。

新刊のお知らせ

紙芝居 「埋められていた聖書」



聖書にまつわる本当にあった話・聖書のみことばは家族を救いに導いた

紙芝居「埋められていた聖書」

ピーターファンウルデン・脚色 岳藤豪希・原訳 茅場玲・絵

300年間埋められていた聖書を掘り出した家族が聖書のみことばを読む日々で変えられていった

大人にも子どもにも教会などでの集会に

卓上版はご家庭や訪問のために

B4 サイズ紙芝居(10枚) 定価(本体 2200円+税)です(送料別)

2L サイズ(130×180)卓上版紙芝居 定価(本体 1400円+税)です(送料別)

舟喜順一著「聖書の教える救いについて」新装改訂版

神の「救い」を示す聖書用語の相互関係図付き(解説 鞭木由行)

聖書本文を新改訳 2017 に変更

神による救いのみわざは、これほど豊かで多面的であるのか。

「聖書は、『救い』だけでなく、他のことについても、同一のことがらを多様なことばで指し示していますが、それは、聖書が特定の神学用語や教会用語ではなく、社会生活を営んでいて、個人的にも社会的にも、複雑な歴史的背景や状況の中にあり、多様な問題を抱え、経験、責任をもつ、実生活に中にある人々の使う用語で、そういう人々のために書かれたことの証拠であると言えるでしょう。」

(本文より)

聖書を見ると、救いとは何かを示す多様なことばが使われています。それは日常使われることばですが、聖書独特の新しい使い方がされています。一つ一つのことばを学ぶことによって、救いについての聖書全体の教えが明らかにされていく書です。

定価(本体 1500円+税) 2020年8月発売予定

今後の出版予定

野田 秀著 「詩篇の愉しみ」

「みことばの光」誌上に掲載した詩篇全篇の解説を一冊にまとめました。

2019年度伝道部会計報告

収入	予算	実績	達成率(%)
聖書通読運動支援献金	4,180,000	3,588,804	85.9
CSK 献金	2,065,000	1,859,135	90.0
ジュニみこ献金	40,000	12,000	15.0
東西アジア SU 支援献金	450,000	382,357	85.0
視聴覚活動指定献金	130,000	12,000	9.2
トルコ SU 支援献金	60,000	47,000	45.0
主事支援特別献金	200,000	129,718	78.3
はじめての聖書通読支援	700,000	25,000	3.6
献金収入の合計	7,825,000	6,058,014	77.4
雑収入(受取利息含む)	2,000	2,000	100.0
収入 合計	7,827,000	6,058,014	77.3
支出	予算	実績	達成率(%)
対外協力費	323,000	122,991	38.0
人件費	4,387,000	3,570,000	81.3
事務管理費	1,572,000	986,784	62.7
活動費	1,260,000	970,123	37.1
その他	285,000	115,241	77.0
支出 合計	7,827,000	6,545,993	83.6
収支差額	0	-487,979	

理事長の窓

稲垣博史

2019年度の活動のために多くの教会、主にある方々の祈りとご支援をいただきましたことを心から感謝しています。左の会計報告でお分かりのように会計状況は大変厳しいものがあります。聖書同盟には出版事業の部門があり、「みことばの光」や「ジュニアみことばの光」その他の文書を発行していますが、これらも宣教活動の一環として利益を目的とせず、出版の継続だけが成り立つような会計のあり方を実践しています。なお、聖書同盟の会計は出版部、伝道部ともに専門の税理士による会計監査を受け、理事会で承認されています。

2019年度末に3人のスタッフが退任し、新年度に新任スタッフ一人を迎えました。その少し前に、新型コロナウイルス感染拡大が始まり、そのために活動も様々な面で影響を受けています。しかし、「天地は消え去ります。しかし、わたしのことばは決して消え去ることはありません」(マタイ 24:35)との主のことばに励まされて、主のみことばの広がりのために与えられた使命を果たして行きたいと願っています。お祈りください。

2019年度献金者リスト (2019年4月～2020年3月)

ご支援を心から感謝いたします

聖書通読運動支援献金 3,588,804円

【教会・団体】11/4デポジションセミナー、4/16CSK委員会、OMFザ・チャペル・オブ・アソシエーション、愛知泉礼拝教会、朝顔教会、旭川めぐみ礼拝教会、麻溝台礼拝教会、足立礼拝教会、淡輪聖書教会、アンテカサーターズ、生田丘の上礼拝教会、泉礼拝教会、岩井礼拝教会、牛久福音礼拝教会、宇都宮聖書バプテスマ教会、永福南礼拝教会、小川礼拝教会、桶川聖書教会、小田原荻窪礼拝教会、かもし聖書教会、カペラント高座教会、岸和田聖書教会、北秋津礼拝教会、北見めぐみ礼拝教会、行田カペラント教会、清瀬福音自由教会、熊本北聖書礼拝教会、グレースコミュニティ、越谷福音自由教会、栄福音礼拝教会、シヨンの群昭島森の上礼拝教会、シャロム福音教会、自由ヶ丘礼拝教会、上水めぐみ礼拝教会、湘南礼拝教会、湘南グレースチャペル、湘南のぞみ礼拝教会、白金礼拝教会、好問礼拝チャペル、菅礼拝教会、宣教教会、高松シヨン教会、滝川福音礼拝教会、玉村福音礼拝教会、千歳烏山光の子聖書教会、筑波国際基督教教会、つつじヶ丘礼拝教会、津豊ヶ丘礼拝教会、東栄福音礼拝教会、東京カペラント教会、東京国際基督教教会、東京聖書教会、東京台湾教会、桜ヶ丘礼拝教会、東洋ローア・クリスト伝道教会、長津田礼拝教会、中野島礼拝教会、永山福音礼拝教会、新潟聖書教会、二宮山西礼拝教会、馬天礼拝教会、浜田山礼拝教会、飯能礼拝聖園教会、東大宮福音自由教会、東松山福音教会、東村山礼拝教会、平塚福音礼拝教会、美幌礼拝教会、福音交友会貝塚聖書教会、ぶどうの樹礼拝教会、古川福音自由教会、前橋礼拝教会(JECA)、丸亀聖書教会、南大沢チャペル、みよし福音礼拝教会、武蔵台礼拝福音教会、横浜さちが丘礼拝教会、横浜シヨン礼拝教会、横浜山手礼拝教会

【個人】稲垣浜子、犬飼孝江、岩井清、岩下幸子、内山茂生・智佐江、大高伊作、小山田格・和美、加々美要、柳田信・

智美、小林美耶子、斎藤潔・ますみ、四宮義文・牧子、下川千加子、菅原茂、杉山準規、塚田直樹、津村誠、匿名、長橋和彦、福田和広、福田崇・愛子、舟喜久子、杉本ルツ子、三輪芳光・みどり、森澤誠、矢吹徹、山口俊郎、山村英夫

中学生聖書クラブ協力会 (CSK) 活動献金 1,859,135 円

【教会・団体】CSK イン・アクトキャンプ、CSK 中高生伝道懇談会、麻溝台教会、岩井教会、上作延教会、内山茂生・智佐江、大磯教会、御徒町教会、関西 CSK キャンプ委員会、行田がな教会、清瀬福音自由教会、神戸聖書教会、栄福音教会、シオンの群教会、湘南グレースチャペル、菅生教会、宣教教会、玉川神の教会、多磨教会、千歳烏山光の子聖書教会、都賀教会、つつじヶ丘教会、東京がな教会、西船橋教会、西堀福音教会、鳩ヶ谷福音自由教会、日本神の教会連盟練馬神の教会、浜田山教会、東村山教会、平塚福音教会、福音交友会貝塚聖書教会、仏子教会、ぶどうの樹教会、保守バプテシスト津田沼教会、本郷台教会、前橋教会(JECA)、馬橋教会、武蔵台教会

【個人】荒木房子、稲垣浜子、稲垣博史、大原浩子、小山田格・和美、栢沼みく、さち、頼、神田勇、神谷典孝、宜志富順一、笹岡厚子、津村誠、匿名、三輪芳光・みどり

ジュニみこ献金 14,000 円

【教会・団体】北栄教会、玉村福音教会、いしのみなと教会、【個人】原正子

SU 東西アジア支援献金 382,357 円

【教会・団体】小田原荻窪教会、昭和聖書教会、前橋教会(JECA)、【個人】稲垣浜子、小山田格・和美、三輪芳光・みどり

視聴覚活動指定献金 12,000 円

【教会・団体】小田原荻窪教会、【個人】米谷信雄

トルコ通読誌献金 47,000 円

【教会・団体】拜島バプテシスト教会、【個人】飯島勅・千雍子、稲垣浜子、竹内夫妻

2019 年度主事活動支援献金 129,718 円

【教会・団体】CSK 春キャンプ、東村山教会、淡輪聖書教会、小田原荻窪教会、聖書友の会【個人】小山田格・和美、匿名、長橋和彦

はじめて通読プロジェクト支援献金 25,000 円

【教会・団体】淡輪聖書教会

郵便振替払込用紙について

2019 年 4 月にゆうちょ銀行(郵便局)の郵便振替払込用紙による払込手数料改定がなされ、1 件当たり 70 円手数料が上がりました。聖書同盟 CSK では赤い払込用紙(手数料は団体負担)を同封させていただいています。もし手数料負担軽減にご協力くださる場合は、同封の青枠の払込用紙(手数料は送金者負担)をご利用くださることができます。もちろん、今まで通り、赤枠の払込用紙をお使いいただいても問題はありませんので、ご了承ください。

発行：一般社団法人 聖書同盟 Scripture Union Japan
〒214-0013 神奈川県川崎市多摩区登戸新町 432-304
TEL 044-900-9047(出版部) 044-900-8990(伝道部) FAX 044-900-9048
E-Mail info@sujp.org ホームページ <http://www.sujp.org/>
関西地区連絡所：〒661-0035 兵庫県尼崎市武庫之荘 1-32-8 TEL&FAX 06-6432-7556
武庫之荘めぐみ教会(松田吉広)
献金送金先 郵便振替：00160-8-173175 聖書同盟伝道部
銀行口座：三菱 UFJ 銀行登戸支店(店番 258)普通 1138865 聖書同盟伝道部
出版物関係送金先 郵便振替：00140-4-57061 聖書同盟出版部